

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
1	避難所運営対策事業	新型コロナウイルス感染拡大防止用の防災資機材を整備することで、災害時の避難所運営における感染拡大を防止する。屋内での3密対策及び感染者の隔離用に屋外用トイレを配備する。また、夜間や停電時において、屋外トイレ、隔離個室、入口の受付や検温等の作業時における光源の確保の為にLED投光器を配備する。	市内各避難所	5,387,360	5,387,360	災害時の避難所運営における感染拡大防止対策を強化するため、屋内での3密対策及び感染者の隔離用に屋外用トイレを配備できる体制を整えることができた。また、夜間や停電時において、屋外トイレ、隔離個室、入口の受付や検温等の作業時における光源の確保の為にLED投光器を設置できる体制を整えることができ、避難所運営対策の強化が図られた。
2	コロナ検査キット購入事業	地域における社会機能の維持に必要なエッセンシャルワーカーが濃厚接触者となった場合に、待機を解除する場合に実施する検査キットを購入する事業。	濃厚接触者となったエッセンシャルワーカー	2,574,000	2,574,000	【危機管理担当】 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、避難所等において感染の疑いのある方に検査キットを使用して感染の可能性の有無を確認する体制を整えることができ、感染防止対策の強化が図られた。 【人事担当】 行政サービスの提供のため、市民と接触を持つ職員等が、感染者や濃厚接触者等になった場合、待機を解除するにあたり、抗原検査を実施することにより、住民に対し安心して安全な行政サービスを実施することができた。
3	行政手続等における押印・対面規制の見直し事業	市民の負担軽減や非接触による感染防止、行政サービスの効率化を図るため、行政手続等における「押印・書面・対面規制」の見直しを行い、行政手続のオンライン化を推進するとともに、例規の整備を行う。	上野原市役所	2,530,000	2,530,000	新型コロナウイルスの影響により、対面での窓口対応が懸念されるなか、行政手続における押印等の見直しを行ったことで、行政手続のオンライン化の一助となった。また、今後運用が始まることで、住民サービスの向上も期待される。
4	遠隔会議対応用パソコン購入事業	コロナ禍における遠隔会議に対応するため、インターネット系（オンライン対応）のパソコンを購入する。	上野原市役所	256,280	256,280	会議専用端末により、コロナ禍における遠隔会議がスムーズに対応できた。
5	庁内ネットワーク無線化業務委託及び端末購入事業	新型コロナ感染防止対策としてDXを推進していく、そのために庁内等の無線化整備を行い、Web会議（LGWAN環境）を利用するため、タブレット端末を購入する。	上野原市役所庁舎、福祉センター、消防署、こども園（上野原・巖）	17,400,790	17,400,790	会議等における資料のペーパーレス化により、場所を限定せずに本庁・出先機関間での会議ができるようになった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
6	上野原市公式LINE導入業務委託事業	新型コロナ感染防止対策により、市からの情報発信がより重要になる。情報発信の強化、来庁による問い合わせ等の減少を目的として、上野原市公式アカウントの導入を行う。	上野原市役所	1,497,100	1,497,100	新型コロナ情報、ワクチン情報など、タイムリーに市民に情報を発信することができた。 また、AIチャットにより、市民が来庁せずに分かりやすく情報を収集しやすくなった。
7	地方創生テレワーク推進交付金	ポストコロナ時代に対応するテレワークを推進し、移住や雇用の創出などを図ることを目的に、国の「地方創生テレワーク交付金」を活用したサテライトオフィスの開設支援を実施する事業。	サテライトオフィス等開設対象事業者	36,280,000	18,384,383	ポストコロナ時代を見据えたサテライトオフィスの開設支援を2事業者に実施することができ、テレワーク推進に寄与することができた。
8	市役所庁舎・文化ホール空調換気機能メンテナンス事業	感染拡大防止のため、市役所庁舎及び文化ホールの空調の換気機能に係る機器をウイルスに対応したフィルターへの交換や空調の換気口（トイレ内）の清掃・消毒を行う。	上野原市役所庁舎・文化ホール棟	1,207,800	1,207,800	庁舎やホールの空調のメンテナンスを行うことにより、換気機能を高めることで、新型コロナウイルスの感染拡大の防止に寄与した。
9	市役所庁舎・文化ホール棟館内消毒業務	新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、市役所庁舎及び文化ホール棟の消毒業務を実施する。	上野原市役所庁舎・文化ホール棟	2,530,000	2,530,000	新型コロナウイルスの感染が拡大し施設の除菌が求められる中で、庁舎や文化ホール棟内の消毒を行うことにより、庁舎とホール内での集団感染の防止に寄与した。
10	空気清浄機整備事業	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、議場や会議室等を含む主な公共施設へ空気清浄機（138台）を設置する事業。	市内公共施設の一部	19,871,900	19,871,900	空気清浄機を購入・設置することにより、主な公共施設の空気環境を改善することで、新型コロナウイルスの感染拡大防止へ寄与した。
11	上野原市地域公共交通事業者支援金	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置に伴う外出の自粛要請等の影響下においても、市民の移動手段を維持・確保する必要があるため、路線バス事業者、貸し切りバス事業者及びタクシー事業者に対し支援金を交付し、市内公共交通を維持することを目的とする。	市内に営業所を置いている交通事業者	1,640,000	1,640,000	市内公共交通事業者に対し、感染予防策に係る経費や事業継続のための経済的支援を行うことができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
12	上野原市中小企業信用保証料補助金	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内の中小企業者に対して、経営の安定等を図るため、山梨県制度融資を利用する際に保証協会に支払う信用保証料について、補助金を交付する。	市内中小企業者	3,889,969	3,889,969	市内の中小企業者計14件に対して補助を行い、経営の安定等につながった。
13	上野原地域マップ連動動画作成事業	新型コロナウイルス感染症の収束後に、人を呼び込むため市内クリエイターや移住者の参画を得て新たな視点で発見した魅力のPR動画作成を行う。	上野原市観光協会（観光案内所）	498,300	498,300	8本のドローン動画の作成により、新たな魅力を伝えることが出来るようになった。
14	デジタルサイネージ購入事業	上野原観光協会（観光案内所）において、感染防止対策の注意喚起を行うため、デジタルサイネージを活用する。	上野原市観光協会（観光案内所）	96,800	96,800	デジタルサイネージを活用したことにより、今までの対面等での説明を減らすことができ、感染拡大防止につながった。
15	地域活性化施設改修事業	新型コロナウイルス感染症の収束後に向けて、上野原市観光協会に山梨県産のワインを多数そろえることで、新たな客層の獲得を目指すため、試飲機の設置や地元産材を使った棚の設置を行う。	上野原市観光協会（観光案内所）	4,461,160	4,461,160	駅前にある地域活性化施設を改修することで、山梨県産ワインの販売のスペースを増やすことができ、新たな集客につながった。
16	商店街等応援事業	新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、キャッシュレス決済を推進していく。そのため、キャッシュレス決済の一定割合を還元するキャンペーンを実施する。	市内商店街（商店・飲食店等）	12,086,945	12,086,945	キャッシュレス決済の利用者拡大につながった。また、市内商店等の売上の増加も図ることが出来た。
17	飲食店等に対する応援給付金	新型コロナウイルス感染症拡大により、山梨県からの営業自粛要請、またまん延防止等重点措置に県が適用され、市内飲食店に休業や酒類提供を終日行わないことが要請された。これに伴い、著しく影響を受けた市内飲食店及び酒類販売店に対し、支援金を給付し市内飲食店等の事業継続を支援すると共に、新基準のグリーンゾーン認証の取得を更に促すことを目的とする。	市内商店街（グリーンゾーン認証対象店舗・酒販売店）	16,000,000	16,000,000	市内87件に対して支援を行い、事業継続につながられた。また、グリーンゾーン認証の取得も促すことが出来た。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
18	指定管理者休業協力金	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休業要請に応じた公共施設の指定管理者に対して協力金を支給し、事業継続を支援する。	市内公共施設の指定管理者	10,233,087	10,233,087	【農村地域づくり担当、商工観光担当】 各施設の減収分の補填することにより、サービスの低下を防ぐことが出来た。 【社会教育担当】 新型コロナウイルス感染拡大に伴う蔓延防止等重点措置の適用による休業要請のため、令和3年8月13日から9月12日まで市民プールを臨時閉館した間の休業協力金を支給し、事業継続を支援することができた。
19	市文化ホール棟感染防止対策事業	サーマルカメラ（スタンドタイプ）による体温チェックと文化ホールでの催しに大型モニターを設置し、感染拡大防止対策の注意喚起を行う。	上野原市役所文化ホール	249,150	249,150	文化ホール入館時に体温測定を行うことが利用者に定着してきた。 また、成人式の開催時には迅速かつ安全に体温測定を行うことができた。 モニターを設置したことにより、ホールのイベント等を別室から観覧できるようになったため、3密を回避しながらイベント等を開催することが可能となった。
20	市民プール感染防止対策事業	エアコンを除菌機能を付したものに改修することや空気清浄機等を設置することにより、館内の感染予防対策を図る。	市民プール	25,709,574	25,709,574	ウイルス対策を施したエアコンに改修し、空気清浄機等を設置したことにより、来館者やスタッフの感染リスクが低減したため、安心して施設を利用することができている。 また、換気や室温等の管理が適切に行えるようになったため、施設内の快適性も改善した。
21	市営運動施設トイレ様式自動洗浄化・自動水栓化改修事業	体育館（旧大目小学校、旧平和中学校、旧沢松小学校、旧大鶴小学校、旧桜井小学校、旧島田中学校、旧西原中学校）、桂川野球場トイレの水道を自動水栓化し、旧大目小学校、旧島田中学校、旧沢松小学校、旧平和中学校、桂川野球場については便器を洋式自動洗浄化することにより、施設利用者の新型コロナウイルスへの感染を予防する。	市内旧小・中学校、桂川野球場	6,877,640	6,877,640	水道の蛇口及びトイレのレバーに触れることが無くなったため、新型コロナウイルスやその他の病原菌などに感染するリスクが低減した。また、体の不自由な方や高齢者の利用に関しても改善が見込まれている。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
22	市立図書館感染防止対策事業	市立図書館に網戸・シェードを設置し、虫や雨の吹き込みを 방지、換気しやすい環境を整備して、新型コロナウイルス感染症防止対策を図る。	市立図書館	375,729	375,729	館内換気を行う際、網戸とシェードの設置により外部からの吹き込み等を防止し利用環境の改善をはかることができた。
23	図書館パワーアップ事業	蔵書を増やすことにより、外出抑制時の在宅における市民の読書活動を豊かなものとし、書架を設置することで館内の3密を防止、蔵書増加に対応し読書環境の充実を図る事業。	市立図書館	8,832,103	8,832,103	1,285冊（一般書：914冊 児童書：371冊）の新刊図書購入により蔵書が増え、自宅での読書環境を充実させることができた。また、書架を増設することで、三密の回避による感染症拡大防止対策として安心して利用することができた。
24	市立図書館トイレ洋式自動洗浄改修事業	感染拡大防止のため非接触機能付き洋式自動洗浄トイレへの改修工事。	市立図書館	1,298,000	1,298,000	非接触型のトイレ整備により、飛沫防止や非接触が可能になり感染リスクの軽減がはかられた。
25	学校給食施設における新型コロナウイルス対策事業	学校給食センターの職員が、感染症や濃厚接触者となり、出勤出来なくなった場合に調理員が不足し、予定していた給食の提供が困難となったときを想定し非常用給食を購入する。	市内小中学校児童・生徒・職員	1,283,256	1,283,256	非常用食料を購入したことにより、給食センターの職員が、感染や濃厚接触者となり、必要な人員が確保できずに、通常の学校給食の提供が困難な場合に備えることができた。
26	指導者用コンピュータ整備事業	新型コロナウイルス対策として想定される学校の休業時に行う遠隔授業において、指導者が使用するコンピュータを整備する。	市内小中学校教職員	836,000	836,000	新型コロナウイルス感染症対策において、1人1台端末をはじめとするICTの整備が急速に進んだことにより、まん延防止措置等重点措置期間等において、臨時休校や分散登校などを余儀なくされる中でオンライン授業を実施し児童・生徒の「学びの保障」を確保することができた。 また、文部科学省が進めるGIGAスクール構想にもとづくICT教育の推進にも合致し、普通の授業はもとより家庭学習においても積極的に活用したことで、児童・生徒も教師も機器活用した学習に慣れることができた。
27	上野原市立小・中学校体育館トイレ等改修事業	新型コロナウイルス感染症対策に伴い、上野原市立小・中学校（8校）の体育館のトイレ洋式化・自動洗浄化・自動水栓化を実施し、接触による感染予防を図る。	市内小・中学校（8校）	7,158,800	7,158,800	体育館は、児童・生徒だけでなく、夜間休日は社会体育施設としても使用されるため、不特定多数の方がトイレを使用されることから、洋式化・自動洗浄化・自動水栓化にしたことで接触による感染予防対策となり、利用者の安全・安心を図ることができた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
28	ICT教育環境整備事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、3密にならないよう児童・生徒が家庭でもオンラインで学習できる教育ソフトの導入と通信環境が整わない要保護・準要保護家庭への通信費補助を目的とする。	児童保護者	8,340,680	8,340,680	文部科学省が進めるGIGAスクール構想が掲げるICT教育の実現に向け、家庭における通信環境整備に対する補助金の交付やモバイルルーターの貸与をはじめ、要保護・準要保護家庭への通信費を補助した結果、令和3年度末時点で家庭の通信環境整備率が99%まで促進することができた。 これにより、まん延防止措置等重点措置期間等における臨時休校時のオンライン授業だけでなく、普段から端末を持ち帰り、家庭学習への活用が円滑に進んだ。
29	教室用大型提示装置配備事業	全校集会等の行事を大型提示装置で画面表示することで、3密を防ぎ新型コロナウイルスの感染を防ぐことを目的として教室用大型提示装置を配備する。	市内小中学校	3,253,360	3,253,360	各学校の教室を中心に大型提示装置を配置し、全校集会等の行事を画面に表示し、3密を防ぐことができた。また、まん延防止措置等重点措置期間等において、クラスを複数に分けて授業する分割授業の際も活用し、感染拡大のリスクを低減し「学びの保障」に繋がった。また、文部科学省が進めるGIGAスクール構想のICT教育の推進にも合致し、普段の授業においても積極的に活用し、児童・生徒の対話的な学び合いに寄与している。
30	島田小特別教室空調整備事業	島田小学校の既存の特別教室に壁を作り分割し、新たな特別教室を設けるが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、その教室の空気清浄を行う必要があることから、空調設備を設置する事業。	島田小学校特別教室	454,960	454,960	空気清浄機能付き空調設備を導入したことで、快適な学習環境と児童の安全・安心の確保に努めた。
31	総合福祉センター感染予防対策事業	感染防止のため、総合福祉センターカウンターや人がよく触れる場所について、総合福祉センターふじみ館内消毒業務委託をし、よく触れる場所の消毒を行う。	総合福祉センター ふじみ館内	1,265,000	1,265,000	カウンターや手すりなどの、手の触れる場所のこまめな消毒により、清潔感が得られた。新型コロナウイルス感染症対策対応に従事できた。
32	上野原市介護サービス事業支援補助金事業	新型コロナウイルス感染症予防対策として、市内介護サービス事業所が感染症の防止対策に係る物品の購入費に対する補助事業。	介護サービス事業者	4,402,481	4,402,481	物品（消毒液、マスク、ガウン、仕切り版等）の購入補助により、重症化となりやすい高齢者また介護等に従事する医療、介護者に対して感染予防、感染拡大防止の一助となった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
33	学童保育感染予防対策事業	感染拡大防止のため、空調設備の空気循環機能不足に伴い、学童保育所における空調換気設備の改修を行う。	各学童保育所（3施設）	1,930,500	1,930,500	空調を改修し、温度調整力が上がったことで、換気頻度の向上に繋がりと、新型コロナウイルスの感染防止及び感染拡大防止につながった。また、省エネ化により電気料の削減にもつながった。
34	保育施設感染防止対策事業	感染拡大防止のため、保育所・こども園において消毒器等の感染防止具等を購入する。	市内保育所・こども園	1,016,601	1,016,601	必要となる感染防止具等を購入し、社会生活の維持に必要な保育施設の感染防止対策の強化が図れた。
35	子育て世帯臨時応援給付金支給事業	所得制限等で子育て世帯臨時特別給付金事業の対象外となる世帯に対し、同様に子ども1人10万円を給付する事業。	子育て世帯臨時特別給付金対象外世帯	11,217,000	11,200,000	所得制限等以外の世帯と同じく、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯等の家計の負担軽減につながった。
36	母子保健事業における感染症まん延防止対策事業	母子福祉事業（乳幼児検診等）にかかる感染拡大防止のため、消毒器等の感染防止具等を購入する。	総合福祉センター	143,796	143,796	備品として空気清浄機大1台、中2台 購入。ほか、アルコール、手指消毒機、ヘーパータオル等の消耗品を購入し、乳幼児健康診査等事業実施時に使用。購入機材を使用しながら感染防止対策を行い、当施設からの感染者を出さずに実施できた。
37	妊婦応援特別給付金	新型コロナウイルス感染症の影響により、生活環境、経済状況が急変する状況の中、感染のリスクを避けるため、公共交通機関を使用できずタクシーを使用したり、出産までの働ける期間でも感染を避ける為に働けなかったりと、経済的負担を強いられる状況にある。そのことから、特に金銭的援助が必要である対象だと考えられるため、妊婦が安心して子どもを産み育てるための支援として妊婦1人あたり8万円の給付金を支給する。（うち、R2年度にすでに5万円の給付を行った妊婦に対しても追加で3万円給付する）	令和3年度において母子手帳を交付された市民、R2年度給付金の支給をした妊婦	6,201,914	3,021,914	感染のリスクが高い中、妊婦単独で通院や出産などの対応時に精神的、経済的負担がある中で、給付金の支給をしたことで少しでも安心して通院でき、出産につながった。支給者 60人 全員正期分娩。うち低体重児2人と少なかった。
38	市公共施設における感染症まん延防止対策事業	総合福祉センターふじみ等の公共施設における感染拡大防止のため、消毒器等の感染防止具等を購入する。	総合福祉センター、その他公共施設	896,457	896,457	市公共施設において、手指消毒用アルコールや洗剤等で日々定期的な対策を継続的に行うことにより、感染の発生源となることがなく、感染を防止する効果があった。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
39	全市民対象PCR検査費助成事業	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、市民が自発的に受けた新型コロナウイルス感染症検査に要した費用（1人1月あたり10,000円/回まで）を助成する事業。	PCR検査を自発的に受けた市民	548,988	548,988	無症状者に対するPCR検査の費用の補助を行うことにより、より検査を行いやすく、また、感染への不安を取り除くことができた。
40	消防団員新型コロナウイルス感染症感染防止対策事業	地域防災の要である消防団の各種活動中の感染防止対策として、アルコール消毒液や感染防止装備品を配備し感染予防の向上を図る。	市内消防団	763,180	763,180	アルコール消毒液、感染防止資器材を配備したことにより、消防団員の会議、研修や各種活動中における団員間感染を防止することができた。
41	消防総務課職員感染防止対策事業	感染対策として消防署（1階）と消防総務部（2階）の職員が接触しないための食料保存のための冷蔵庫の購入と換気のための網戸を修繕する。	上野原市消防庁舎	683,464	683,464	消防総務課（2階）に冷蔵庫を購入設置したことにより、消防署（1階）へ行き来する回数を最小限に押さえることができた。 網戸の修繕や設置をしたことにより、害虫等の侵入を押さえながら換気効果を向上させる事ができた。
42	非接触検温器設置事業	新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、職員の体温チェックを行うサーマルカメラ（スタンドタイプ）を設置する事業。	上野原市消防本部	275,000	275,000	体温チェックを行う目的で、サーマルカメラ（スタンドタイプ）を設置したことにより、職員の体調管理に対する意識高揚を図ることができた。
43	救急隊員感染防止対策事業	救急隊員の感染を防止するため、袖の絞り込み及び襟腰が高い感染防止衣とディスボタイプの防止衣を購入する。また、感染症患者を搬送する際、救急車内を養生するトランジットアイソレーションフードの設置と、感染リスクの少ないタイベック防護服を着用することにより隊員の感染防止を図る。	上野原市消防署救急隊員	3,277,142	3,156,780	新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）搬送に対して感染リスクがあったが、感染予防等の資機材の購入により現場活動を行う救急隊の感染防止対策が図れた。
44	新型コロナウイルス感染症感染予防対策	救急活動後、空間除菌脱臭装置（高濃度オゾン発生装置）を使用し、隊員の衣服に付着したウイルス等を不活性化し隊員の感染防止を図る。	消防署	374,000	374,000	新型コロナウイルス感染症患者搬送後、救急車内を清掃・消毒した後に高濃度オゾン発生装置を用いることによって徹底した感染防止対策が図れた。

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業一覧

番号	事業名	事業概要（目的）	対象	事業費（円）	交付金充当額（円）	効果検証
45	ETCO2モニタ購入事業	新型コロナウイルス感染症の流行により、心肺停止傷病者に対する気道確保はエアロゾルの飛沫防止のため気管挿管をするように、指導医から指示を受けている。そのため気管挿管が正しく挿入されている事を確認する器具として、ETCO2モニタを購入する事業。	上野原市消防署	631,290	631,290	ETCO2モニタ購入により新型コロナウイルス感染症患者の心肺停止状態に対応する救急隊の感染リスクは軽減され、万全を期した救急活動が出来る体制となった。
合計額				236,737,556	215,524,577	